

No	キャラ名	台詞
	SE	雨の音
1-001	彩蝶	<p>おや、お目覚めになりましたか？</p> <p>ふふ、状況を飲み込めていないといった顔をしていますね。</p> <p>それも無理はありません。</p>
1-002	彩蝶	<p>でもご安心下さい、私がきちんと理解できるよう一から説明しますね。</p> <p>どうかそのまま楽にして聴いていてください。</p> <p>私の名は彩蝶、妹と2人、この山小屋で暮らしています。</p>
1-003	彩蝶	<p>今から数刻前、山菜採りをしていたところ</p> <p>崖の下で気を失っている貴方を見つけ</p> <p>こうして家までお連れしたというわけです。</p>
1-004	彩蝶	<p>昨日は大雨でしたからね。</p> <p>大方ぬかるんだ地面に足を取られ崖から落ちたのでしょう。</p>
1-005	彩蝶	<p>不幸と言うほかありませんが、</p> <p>あの高さから落ちて生きているのですから、</p> <p>それはそれで幸運とも言えますね。</p>
1-006	彩蝶	<p>いえ、幸運だけではありませんね。</p> <p>その鍛え上げられた肉体、漲る生命力があればこそ。</p>
1-007	彩蝶	<p>うふふ、なんて厚く逞しい胸板をしているのでしょう。</p> <p>腕や足もこんなに太く丸太のよう。</p> <p>こうして見ているだけで自然と体の奥が疼いてしまいます。</p>
1-008	彩蝶	<p>あ、治療のお礼なら結構ですよ。</p> <p>困った時はお互い様というではありませんか、</p> <p>何事も助け合いです。</p>
1-009	彩蝶	<p>とまあ、説明は以上になりますが、なにかご質問はありますか？</p>
1-010	彩蝶	<p>あ～、なぜ手足を拘束されているのか疑問に思われているのですね？</p>
1-011	彩蝶	<p>命こそ助かったものの怪我を負っていることに変わりありませんから</p> <p>固定しているのですよ。</p>

1-012	彩蝶	不自由かも知れませんが、 お医者様が来るまでそうしていて下さい。
1-013	SE	引き戸の開く音
1-014	雛菊	ただいま。
1-015	彩蝶	お帰りなさい、随分遅かったのね。 なかなか帰ってこないから心配したわよ。
1-016	雛菊	誰？
1-017	彩蝶	ああ、崖から落ちて怪我をしていたから手当てしていたのよ。 ほら、ご挨拶なさい。
1-018	雛菊	……嫌。
1-019	彩蝶	まったく……
1-020	彩蝶	すみません、無愛想で。 良い子なんですが少々男性が苦手なもので…… 妹の雛菊です。
1-021	彩蝶	ん、なんですか？ 姉ではなく妹なのか、ですか？
1-022	彩蝶	まあ、そんなに私って若く見えますか？
1-023	彩蝶	うふふ、必ずと言って良いほど皆さん 姉妹逆ではないかと思われるようですね
1-024	彩蝶	それも仕方ありませんね。 私は見ての通り小柄ですから。
1-025	彩蝶	もういい年だというのに、 たまに子供と間違われることもあるんですよ。 嘆かわしいことです。

- 1-026 彩蝶 それに比べて雛菊はスラッとした長身で、
女の私から見てもウツトリしてしまう程
成熟しきった体つき。
- 1-027 彩蝶 貴方もそう思いませんか？
見てください、この殿方に媚びを売っているとしか
思えない無駄に実った乳房を。
- 1-028 彩蝶 これ見よがしに揺らしてみせてなんの自慢かしら？
私に対する当てつけなのかしら？
- 1-029 雛菊 そんなことない、姉さんはとても魅力的。
小柄な体も、その瞳も唇も全て愛おしい。
- 1-030 彩蝶 そんなにこの体が良いというのなら
交換して欲しいくらいだわ。
- 1-031 雛菊 出来るものなら交換したい。
それが出来たらどれほど幸せかわからない。
- 1-032 彩蝶 本当にそう思っているのかしら？
怪しいものだわ。
- 1-033 雛菊 信じて、姉さん
- 1-034 彩蝶 うふふ、冗談よ。
ええ、もちろん信じますとも。
雛菊は私のことが大好きだもの、そうでしょう？
- 1-035 雛菊 誰よりも姉さんのことを愛してる。
- 1-036 彩蝶 でも雛菊が私のことを好きでも世の殿方の多くは、
雛菊の乳房に顔を埋めて赤子のように乳首を
吸い上げたいと思うでしょうね。
- 1-037 雛菊 姉さんは男に好かれたいの？
- 1-038 彩蝶 そりゃ私も女ですから殿方に好かれたいと思うのは
自然のことでしょ？

- 1-039 彩蝶 それとも私に、このまま嫁ぐことなく、愛も知らず
老いて死ねと言うの？
- 1-040 雛菊 姉さんには私がいるから……
このまま2人でひっそりと暮らしていきたい。
- 1-041 彩蝶 まあまあ、もしかして私をとられるのが嫌なのかしら？
- 1-042 雛菊 うん……姉さんは私だけのもの。
私が姉さんを誰よりたくさん愛するから……だから……
- 1-043 彩蝶 うふふ、いくつになっても甘えん坊なんだから。
そんな可愛い姿を見せられたら、
ご褒美をあげたくなってしまうわ。
- 1-044 雛菊 欲しい……ご褒美頂戴……
- 1-045 彩蝶 だけど、お客様の前ではしたくはないかしら？
あ、だからいいのかしら？
- 1-046 彩蝶 雛菊は誰かに見られながらの方が興奮する
変態の淫乱ですものね。
- 1-047 雛菊 そんなこと……
- 1-048 彩蝶 ないと言えるの？
私には手に取るように雛菊の全てがわかるのよ。
- 1-049 彩蝶 そう、どこをどう触られるのが好きなのか、
どんな言葉を囁かれると濡れるのか、
なにをすれば乱れるのかね。
- 1-050 彩蝶 それとも私の言うことが間違えているとでも？
私の言葉を否定するの？
- 1-051 雛菊 姉さんを否定したりしない。
姉さんの全てを肯定する。
姉さんの言うことは全て正しい。

- 1-052 彩蝶 なら私の望む言葉を言ってごらんなさい。
私のことを本当に愛しているのなら、
わかるわよね？
- 1-053 雛菊 うん……雛菊は……見られながらするのが大好きな
変態の淫乱です……姉さんに罵られて興奮してしまう
発情した雌犬です……
- 1-054 雛菊 姉さんに可愛がられるのを想像するだけで股が疼き、
奥から……熱い蜜を滴らせてしまいます……
姉さん……好き……大好き……
- 1-055 彩蝶 偉いわ。よく言えたわね。
だけどそんな変態に好きと言われてもね。
困ったものだわ。
- 1-056 雛菊 ね、姉さん……
- 1-057 彩蝶 うふふ、冗談よ。本当に可愛いんだから。
特にその今にも泣き出してしまいそうな顔は、
いつ見てもゾクゾクするわ。
- 1-058 彩蝶 さあ、ご褒美をあげるから、こちらにいらっしやい。
- 1-059 雛菊 姉さん……